

Title	中小企業の多角化戦略 - 新たなる事業多角化の論理 -
Sub Title	
Author	松本将(Matsumoto, Shiyou) 和田充夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1990
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1990年度経営学 第792号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001990-0792">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001990-0792</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	松本 將 (マツ六株式会社)	主査	和田 充夫
		副査	矢作 恒雄 池尾 恭一
所属	和田 充夫 研究室		

## 中 小 企 業 の 多 角 化 戦 略 － 新 た な る 事 業 多 角 化 の 論 理 －

市場の多様化・細分化が急速に進むなかで、新たな事業機会を見いだそうと「多角化戦略」を実施している企業は大企業ばかりではない。いまや多くの中小企業も多角化戦略に乗り出し高い業績をあげている。しかし、これまでの多角化研究の調査対象はほとんどが大企業であり、中小企業を調査対象とした研究はほとんど見られなかった。これまで大企業の多角化戦略に影響を及ぼす要因としては経営資源が代表的な概念として議論されていたが、中小企業の多角化戦略では経営資源に加えて経営者のパーソナリティーや文化・風土などのさまざまな企業特性が影響を及ぼすと考えられる。

本研究は、このような問題意識から中小企業論やこれまでの多角化研究を整理した上で、中小企業と大企業との相違点や経営資源を中心として、①経営者のパーソナリティー、②企業特性（経営資源・組織・文化・風土）、③企業規模の3つの概念が多角化戦略に影響を与え、業績に結びついているとしたモデルを構築した。また、多角化戦略の推進度を量的な尺度での多角化度と質的な尺度での事業関連多様性の統合であるとし、2元配置分散分析を中心に実証研究を行った。

実証研究の結果、中小企業の多角化戦略推進には経営者のパーソナリティーをはじめとするさまざまな属性が影響し、経営成果に結びついていることがわかった。また、経営者のパーソナリティー特性としてNEO企業家型という新しい経営者像が抽出された。

以上の結果から、本研究では中小企業が多角化戦略を実施し、それを高い経営成果に結びつける経営者のあり方、組織の設計、経営資源の考え方、企業の文化・風土の形成について、多角化戦略の準備段階から実施後の継続的推進に至るまでの各プロセス毎に具体的な戦略的提言を行った。